

目次 Contents

- | | |
|-------------------|------------------|
| 2 年頭のごあいさつ | 21 国民年金だより |
| 5 まちの話題 | 22 レッツスポーツ |
| 8 市長のいきいきタウントーク結果 | 24 環境トピックス |
| 10 保健便り | 25 障がい福祉瓦版 |
| 13 市県民税・所得税のお知らせ | 26 図書館だより |
| 14 確定申告のお知らせ | 28 農業委員会だより |
| 15 公的年金を受給されている方へ | 29 暮らしの情報 |
| 16 市県民税の申告が始まります | 42 1月のカレンダー |
| 18 生涯学習だより | 43 国際交流員カロリンのコラム |
| 20 新・下野市風土記 | 44 イベントカレンダー |

今月の表紙

防災ラジオ配布中

今月の表紙は、民生委員の小貫さんが、駅東にお住まいの井上さんご夫妻に市の防災ラジオを手渡している様子です。

防災ラジオは、スイッチを入れていなくても、電源を確保しておけば、国から発信されるJアラートや、市から発信する緊急情報を受信すると、自動的に起動して、最大音量でそれらの情報を流す機能を備えています。

80歳以上の方のみの世帯や、視覚障がい者1・2級の方などに無償で貸し出されるほか、市民や市内の事業所などを対象に販売も行っています。一般の方は5,000円、75歳以上の方のみの世帯は2,000円で、安全安心課で販売しています。

「FMゆうがお」の開局により、災害時のきめ細かな情報発信が可能になりました。この機会に、防災ラジオを導入されてはいかがでしょうか。

今月の何の日

1月16日 禁酒の日

1920年のこの日、アメリカ合衆国で施行された禁酒法に由来しています。

禁酒法は、宗教的理由や、不健全な酒場の取り締まりなどを目的に、飲料用アルコールの製造・販売・運搬等が禁止されたものです。

しかし、飲酒自体が禁止されたわけではなかったため、酒を買いだめする人が大勢いました。また、ニューヨークだけでも数万ものもぐり酒場（スピークイージー）が生まれ、飲酒量は禁酒法以前より10%も増加しました。

これらの酒場に酒を供給したのが、カナダやメキシコなど、近隣の国々から酒を不法に輸入したギャングたちです。特にシカゴ市は、アル・カポ

ネなどの悪名高いギャングたちが、違法なアルコールの販売によって大金を稼ぎ、繁栄しました。

禁酒法時代、ギャングが力を得ることで治安は悪化し、連邦捜査局の捜査官とギャングの銃撃戦で、市民も含め、2,000人ももの死者が出たと言われていました。

やがて禁酒法の撤廃を望む世論が高まり、施行から13年後の1933年、禁酒法は廃止されました。

酒は百薬の長という言葉もありますが、それは適量を守ってこそ。飲み過ぎは、やはり毒です。クリスマスから年末年始にかけて羽目を外して飲み過ぎてしまった方は、この機会にご自分のお酒の量を見直してみてもはいかがでしょうか。

■人口と世帯（12月1日現在）

人口／60,209人（+32）、男性／29,893人（+21）、女性／30,316（+11）、世帯数／24,267世帯（+22）

下野市公式
ツイッター

市ではホームページの新着情報や、災害発生時の避難場所などの情報配信を行います。右のQRコードからアクセスできます。

下野市公式アカウント @city_shimotsuke

